



10月はリデュース・リユース・リサイクル推進月間(略称：3R推進月間)です。月間中は、環境省を含む3R関係府省、地方公共団体、関係団体で、3Rに関する様々な取り組み、行事が行われます。

♣3R推進月間とは？

廃棄物問題に関して、国民・事業者・行政がそれぞれの知識や経験を交換するとともに、参加者一人ひとりが自らのライフスタイルを見直す機会を提供することを通じ、“3R”(廃棄物などの発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle))の推進に関する理解を深め、循環型社会の形成に向けた取り組みをより一層推進します。

♣3R推進月間における当事務所の取り組み

中部地方環境事務所では、「3R」の推進を幅広い層に訴えかけ、循環型社会の実現に向けた取り組みの一層の推進を図るため、毎年、3R推進地方大会を開催しています。今年は、岐阜県岐阜市内で、10月2～3日に開催しますので、お近くの方は是非お越しください!

(概要：詳しくは、後日、事務所のHPでお知らせします。)

10月2日(土)には、マーサ21(岐阜市内のショッピングセンター)にて、イベントを行います。県内の関係団体による出展・活動紹介の他、エコキャラによるステージイベント、3Rマイスターによる3Rに関する知識や生活で使える取り組みの紹介、さらに、FC岐阜の選手を招いてのトークショーなどを予定しています。

10月3日(日)には、長良川球技メドウで行われるJリーグ2部FC岐阜の主催試合とタイアップして3Rに関する普及啓発イベントを実施します。

特に、リユースの促進の観点から、来場者にリユースカップを配布し、その継続的な使用を呼びかけるなど、3RをPRします。



3R・低炭素社会検定について

3Rの活動を身近に広めるために、様々な取り組みが世の中で行われています。ここでは、その取り組みの一つとして、「3R・低炭素社会検定」を紹介します(実行委員会代表：高月 紘・石川県立大学教授)。

検定では、3R・低炭素社会について、その基礎知識・情報を体系化し、共有すること、また、合格者向けの活動支援・教育プログラムの展開などにより、個別の行動への動機付けと活動を支援することなどを目指しています。(参考：昨年度までは、「3R検定」として実施)

使用済み小型家電の回収モデル事業

≡ 経済産業省 環境省 名古屋市 津島市 ≡

「レアメタル」という言葉をお聞きになったことがあると思います。電気電子機器の小型化、高機能化などに欠かせないそれら金属は、我が国にとって安定供給の確保が政治的・経済的な課題である一方、すでにそれらが使用された使用済み製品は「都市鉱山」と呼ばれ、国内で廃棄されるレアメタルなどの鉱物資源は相当の規模とされています。これらがリサイクルできれば、将来的に、回収されたレアメタルを国内で循環させることが可能となります。

このため、環境省は、経済産業省と連携し、使用済み小型家電からのレアメタルの回収及び適正処理に関する研究に取り組んでいます。中部地方では、平成21年度に続き、名古屋市と津島市において、このためのモデル事業を実施しています。小型家電の回収に当たっては、中部リサイクル運動市民の会などが、行政・企業・研究機関などと連携して進めています。

モデル事業では、名古屋市内、津島市内の各所において、「リサイクルステーションでの回収」、「ショッピングセンターなどでの店頭回収」、「自治体の資源ステーションにおける定期回収」などを複合的に組み合わせた社会実験を行っています。



昨年度は、両市を合わせて、1万4千個、8.8トンもの小型家電を回収することができました。

ご家庭に使用済みの小型家電がありましたら、ぜひ、回収にご協力ください!!

❖お問い合わせ先

NPO法人中部リサイクル運動市民の会

電話番号：052-659-1007

<http://www.es-net.jp/kaden/index.html>

今年度の検定の会場として、中部地方において、新たに、北陸会場(鯖江市・環境教育支援センター)及び中部会場(名古屋市・名古屋国際会議場)が設けられることとなりました。

なお、試験日は、平成23年1月9日(日)、受験申請期間は、平成22年10月1日(金)～11月30日(火)となっています。

❖お問い合わせ先

3R・低炭素社会検定実行委員会

電話番号：075-641-3220

<http://www.3r-teitanso.jp/index.html>



～ 持続可能な社会をめざして～